





じんむ  
第1代 神武天皇  
神日本磐余彦尊  
B.C.660~B.C.585  
the Emperor Jimmu



すいせい  
第2代 綏靖天皇  
神彦名川耳尊  
B.C.581~B.C.549  
the Emperor Suizei



あんのい  
第3代 安寧天皇  
磯城津彥玉手看尊  
B.C.549~B.C.511  
the Emperor Annei



いとく  
第4代 懿德天皇  
大日本彦稻友尊  
B.C.510~B.C.477  
the Emperor Itoku



こうしょう  
第5代 孝昭天皇  
觀松彦香殖稻尊  
B.C.475~B.C.393  
the Emperor Kōshyō



こうあん  
第6代 孝安天皇  
日本足彦国押人尊  
B.C.392~B.C.291  
the Emperor Kōan



こうらい  
第7代 孝靈天皇  
大日本根子彦大瓊尊  
B.C.290~B.C.213  
the Emperor Kōrei



こうげん  
第8代 孝元天皇  
大日本根子彦国率尊  
B.C.214~B.C.158  
the Emperor Kōgen



かいかい  
第9代 開化天皇  
稚日本根子彦大日尊  
B.C.158~B.C.98  
the Emperor Kaika



すじん  
第10代 崇神天皇  
御間城入彦五十瓊殖尊  
B.C.97~B.C.30  
the Emperor Sujin

縄文文化の特徴

【経済・社会】一貧富の差  
狩猟・漁労  
採取の生活—果実など  
【道具】  
磨製石器・打製石斧  
石槍・弓矢の利用  
【住居】  
竪穴住居  
屈葬  
アニミズム(精霊崇拜)



弥生文化の特徴

【経済・社会】一貧富の差と身分の差  
水稲耕作  
狩猟・漁労・採取も並存  
【道具】  
鉄器の使用  
青銅器  
(主に祭器・宝器・装身具として利用)  
【住居】  
竪穴住居・高床倉庫  
男は袷袢衣、女は貫頭衣  
【墓制・宗教】  
伸展葬



凡例

代数 — 御名  
第40代 天武天皇 — 御名  
大海人 — 追号  
673~86  
the Emperor Tenmu  
Oama

在位年間

縄文土器の編年 (1万年前~B.C.300)

草創期 (起元前11000年~)  
上野遺跡 (神奈川)

早期 (起元前7000年~)  
福沢遺跡 (長野)

前期 (起元前4000年~)  
篠山貝塚 (栃木)

中期 (起元前3000年~)  
篠山遺跡 (新潟)

後期 (起元前2000年~)  
かぐや姫遺跡 (静岡)

晩期 (起元前1000年~)  
是川遺跡 (青森)

● 弥生時代の土器 ●

前6000頃 黄河中流域で畑作、  
長江下流域で水稲耕作始まる

前1600頃 殷王朝成立 (~前1043)

前1050 周王朝、中国華北を統一

前770 春秋時代始まる (~前403)

前403 戦国時代始まる (~前221)

前221 秦始皇帝、初めて中国を統一

前146 カルタゴ滅亡

前1世紀 百余国に分立、漢(楽浪郡)に遣使

蘇我天皇

省略





第21代 **雄略天皇**  
 ゆりやく 大泊瀨幼武尊  
 456~79  
 the Emperor Yuryaku



第22代 **清寧天皇**  
 せいねい 白髮武大臣推稚日本根子天皇  
 480~84  
 the Emperor Seinei



第23代 **顕宗天皇**  
 けんそう 弘計天皇  
 485~87  
 the Emperor Kenzo



第24代 **仁賢天皇**  
 にんけん 億計尊  
 488~98  
 the Emperor Kennin



第25代 **武烈天皇**  
 ぶれつ 小泊瀨稚鸕鷀天皇  
 498~506  
 the Emperor Buretsu



第26代 **継体天皇**  
 けいたい 男大迹尊  
 507~31  
 the Emperor Keitai



第27代 **安閑天皇**  
 あんかん 勾大兄  
 531~35  
 the Emperor Ankan



第28代 **宣化天皇**  
 せんか 武小広国押盾尊  
 535~39  
 the Emperor Senka



第29代 **欽明天皇**  
 きんめい 天國排開広庭天皇  
 539~71  
 the Emperor Kinmei



第30代 **敏達天皇**  
 びたつ 訳語田沙中倉太珠敷尊  
 572~85  
 the Emperor Bitatsu



岡田山古墳出土鉄刀(六世紀後半) 半島根県松江市  
 稲荷山古墳出土鉄剣(五世紀後半) 埼玉県行田市  
 石上神宮七支刀(四世紀後半) 奈良県天理市

漢字の使用

刀身(上図)や鏡面(下図)の二つの円に囲まれた圏には文字が刻み込まれている。



陽田八幡神社人物画像鏡  
 和歌山県橋本市蔵 直径19.8cm 重さ1.43kg

【4世紀末~5世紀の遷来】

朝鮮半島では天候不順から飢饉状態になっていて、高句麗の南下政策とも重なり、飢饉と戦争を避けて百濟・任那・新羅などから渡来し畿内中心に定住した。主に手工業的技術者集団で、大和政権に編入された。

<弓月君> (秦氏の祖)

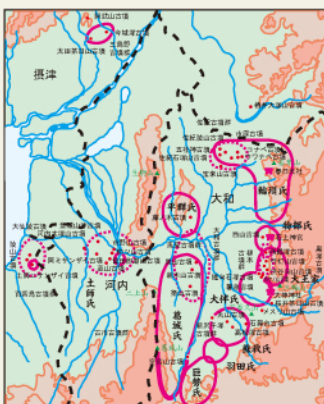
養蚕・機械を伝える

<阿知使主> (東漢氏の祖)

文筆にすぐれ、史部を管理

<王仁> (西文氏の祖)

「論語」「千字文」を伝えたと言われる



▲大和地方の有力家族の勢力範囲と古墳



①飛鳥寺釈迦如来像 (止利仏師・作)  
 ※飛鳥彫刻の特徴は、アルカイックスマイル(古拙的微笑)にある。



②半跏思惟像 (広隆寺)



③半跏思惟像 (新羅時代作)



▲6C初~7Cの朝鮮



▲仏教の伝来 (前6世紀~後6世紀)

462 済、没。興、宋に遣使

463 百濟から陶工・土工が来日

478 興、没。武、宋に遣使・上表

479 南齊高帝、倭王を鎮東大將軍とす(『南齊書』)



南齊高帝



梁武帝

486 フランク王国、建国(〜843)

一氏姓制度の強化一

502 梁武帝、倭王を征東大將軍とす(『梁書』)

| 天皇    | 大臣   | 大連            |
|-------|------|---------------|
| 21 雄略 | 群臣真鳥 | 大伴家原<br>物部目   |
| 26 繼体 | 巨勢真人 | 大伴金村<br>物部麁鹿火 |
| 29 欽明 | 蘇我稚目 | 大伴金村<br>物部尾輿  |
| 30 敏達 | 蘇我馬子 | 物部守屋          |

▲5世紀末~6世紀末の大和政権(大化の改新後に改正された)

507 大伴金村ら男大迦王を継体天皇とする

511 都を山背国筒城に移す

512 大伴金村、任那の4県を百濟に割讓

513 百濟、五経博士を送る

522 南梁の達摩、佛教を伝える

一皇位継承で豪族対立一

527 筑紫国造磐井、反乱(〜28)。

528 大連・物部麁鹿火、磐井の反乱を平定。

534 都を大倭勾金橋宮に移す。

~各地に屯倉・名代を定める~

538 百濟聖明王、仏像と経論を日本に送る

<仏教伝言> (『書紀』は552年)

552 大臣・蘇我稚目と大連・物部尾輿、崇仏論争す

554 百濟、援兵を請う。百濟聖明王、敗死

~五経、易、医博士、採薬師、楽人ら来日~

562 任那の日本府、新羅に滅ぼされる

一飛鳥文化一

577 百濟から造仏・造寺工らが来日

【6~7世紀の遷来】

大和政権の朝鮮進出や楽浪郡・帯方郡の滅亡、百濟・高句麗の滅亡など政情の変化で日本に百濟・任那・高句麗などの人々が渡来してきた。『新撰姓氏録』(815年)によると氏族1182氏のうち約30%(326氏)が渡来系で占められている。後に全国に分散され、東国(武蔵・上総・常陸・相模・伊豆)などに編入された者も多い。地名などの由来が今なお全国に多数残されていて、儒教・仏教・易・暦・医などを伝え、飛鳥文化の形成に貢献した。五経博士(『易経』『書経』『詩経』『礼記』『春秋』)司馬達等(孫に止利仏師)、親朝(曆本を伝える)、曇徴(紙墨・絵の具の製法)、味摩之(伎楽の舞)など。